

取扱・工事説明書

電気温水器 (HWE 型)

はじめに

このたびは細山熱器(株)HWE型電気温水器をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みになり、本機の性能を十分に発揮できますよう正しいお取扱をお願いいたします。

取扱・工事説明書の表記

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書及び製品への表示はいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警 告

この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。



注 意

この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合及び物的障害のみの発生が想定されることを表しています。

目 次

取扱説明編	設置工事説明編
各部の名称・・・・・・・・・・ 2	警告事項・・・・・・・・・・ 11
ご使用の前に・・・・・・・・・・ 3	設置に関する注意事項・・・・・・・・ 11
使用方法・・・・・・・・・・ 5	仕様・・・・・・・・・・ 14
ハイエレコン完全マスタ・・・・・・・・ 6	アフターサービスについて・・・・・・・・ 16
日常の点検とお手入れ・・・・・・・・ 8	取扱説明書の再入手方法・・・・・・・・ 16
故障かな?と思ったら・・・・・・・・ 9	
長時間使用しない時・・・・・・・・ 10	



細山熱器株式会社

◎ 特に注意していただきたいこと



警 告

- 本取扱説明書に記載されていない操作方法は絶対にしないで下さい。
- 銘板に表示してある電源を使用して下さい。正常に作動しなくなります。
- 工場出荷時に制御機器の調整を行って所定の性能が出るようにセットされていますので、本取扱説明書に説明されていない機器類のダイヤル、スイッチ、及びパネルキー等には、故障の原因となることがありますので触れないようにして下さい。
- 機器の設置、移動及び付帯工事は、お買い上げの販売店に依頼し安全な位置に正しく設置して使用して下さい。
- 機器及び機器の周囲には燃えやすいものを置かないで下さい。火災の原因になることがあります。
- 本体アースは必ず取って下さい。
- 電源線の接続は確実に行って下さい。接続口にほこりが付着したり、接続がゆるいと感電や火災の原因になります。
- 扉は必ず閉めた状態でお使い下さい。



注 意

- 制御盤の扉を開けて漏電ブレーカーの入切を行う場合は特に注意し、漏電ブレーカーのスイッチ以外は触れないで下さい。
- お湯を使用になる時は、始め空気が混じった熱湯が飛び散ることがありますので、水栓の下付近には手を置いたまま熱湯を出さないで下さい。
- 排水を行う時は、温度が下がってから行って下さい。
- 万一異常を感じた場合には、直ちに運転を停止し「故障かな?と思ったら」に従って下さい。
- この機器は給湯用に使用する目的で作られていますのでそれ以外には使用しないで下さい。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 使用中及び使用後は本体・配管等、部分によっては熱くなっていますので手を触れないで下さい。やけどの恐れがあります。
- 濡れた手で機器本体に触らないで下さい。感電の恐れがあります。
- 水洗いは絶対にしないで下さい。特に電器系統に水が掛からないようにして下さい。
- 使用される前に必ず温水器を設置される床面が「防水施工」、「防水パンの設置」、「床排水施工」がなされているか確認して下さい。そうでない場合は工事事業者に依頼し、改善を行って下さい。

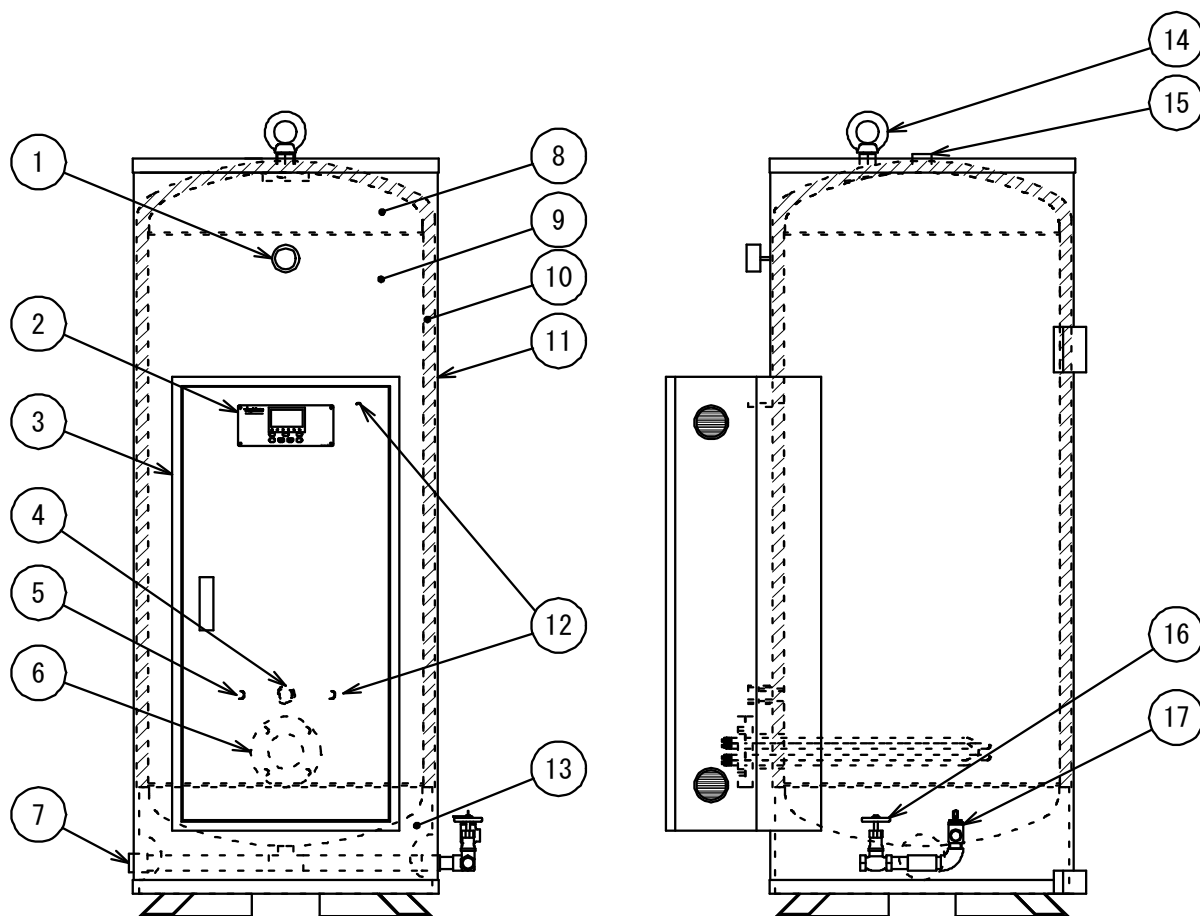
お願い

- 雷による一時的な過電流やノイズで電子部品を破損することがありますので、雷が発生した時は速やかに電源を切して下さい。
- 電源を入れる前にもう一度銘板に記載されている電圧、相を確認して下さい。
- 運転スイッチを入れる前に缶体に水が入っていることを必ず確認して下さい。
- 取扱説明書を紛失した時は有償にてお送り致しますので、アフターサービスと同じ所までご連絡下さい。
- 取扱説明書は常に本体内のポケットに入れておいて下さい。

取扱説明編

器具をご使用になる方へ

各部の名称

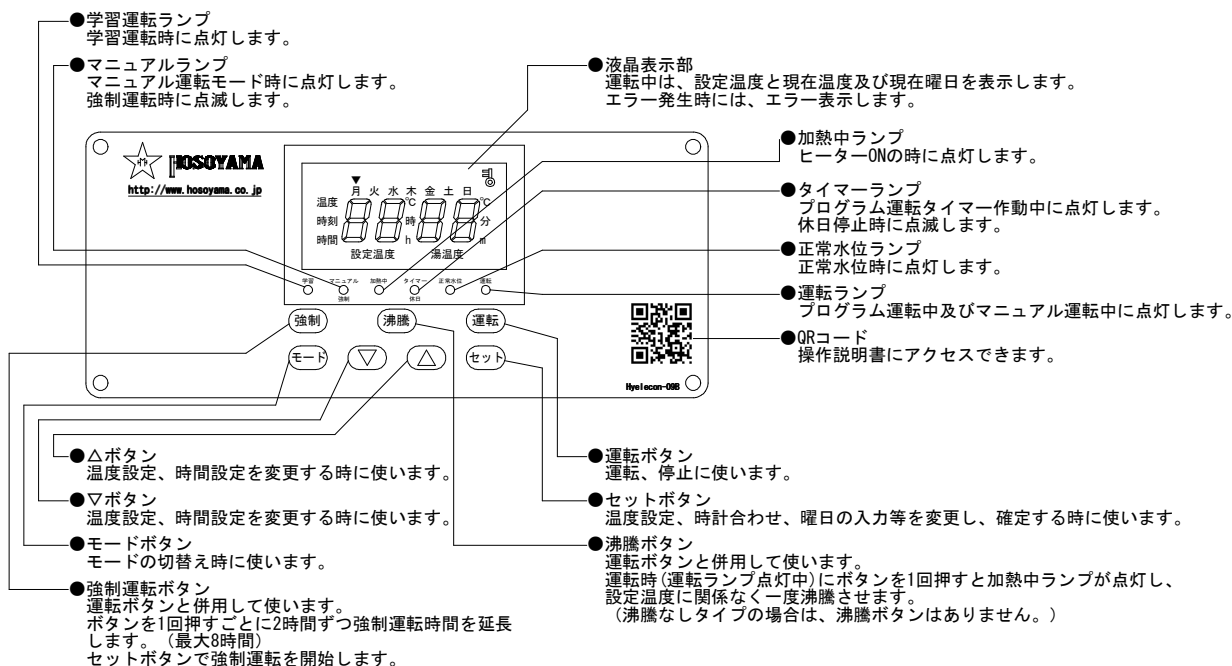


1	圧力計	7	給水口	13	支柱リング
2	操作部	8	鏡板	14	アイボルト
3	制御盤	9	内胴	15	出湯口
4	空焚防止器	10	保温材	16	排水口
5	過昇防止器	11	外板	17	安全弁
6	ヒーター	12	サーモ取付口		

ご使用の前に

ご使用になる前に次のことを確認して下さい。

- 給水栓を開き、全ての給湯栓から水の出ることを確認して下さい。
- 機器本体及び周囲に異常がないことを確認して下さい。
- 電源を入れて下さい。
- 時計を現在時刻に合わせて下さい。おまかせタイマーがセットされています。



■ 時計合わせ

1. **運転**を2秒間押し、運転をOFFにして下さい。
2. **モード**を長押しして下さい。(2~3秒間)
表示部に『時刻』が表示され、点滅します。
3. **△** **▽** を押して現在の時刻に合わせて下さい。
4. **セット**を押して下さい。
表示部の『月』が点滅します。
5. **△** **▽** を押して現在の曜日に合わせて下さい。
6. **セット**を押して下さい。
7. **運転**を押して下さい。
運転モードに戻ります。

■ 時計確認

1. **モード**を押し時刻に合わせる。
現在時刻が表示され、15秒後に温度表示に戻ります。

■ 学習運転

◎はじめてお使いになるときは、一度学習運転を行なって下さい。

学習運転は沸き上げデータを取るための運転です。このデータを基に次回より沸き上げ時刻に沸き上げます。

学習運転方法： **モード** を押しながら **運転** を押します。

学習運転中は、学習運転ランプが点灯しています。

◎ メモ

学習運転は、プログラムタイマーの「入」時間帯、「切」時間帯の動作も同じです。

学習運転を行なうと同時にヒーターがONになり学習運転ランプは点灯します。
沸き上がると学習運転ランプは消灯します。

◎学習運転時の注意

学習運転ランプが点灯状態でヒーターがONの時はお湯を使用しないで下さい。
データに誤りが生じます。一度、学習運転を終了しますと改めて学習運転を行なうまではデータは保持されますので運転のON、OFFだけでご使用下さい。

◎学習運転を行なわなかった場合

学習運転を行わずに **運転** を押して、使用開始した場合は、設定されている沸き上がり時刻の2時間前にヒーターがONになり沸き上げます。

■ おまかせタイマーを変更して御使用になる場合

おまかせタイマーを変更して御使用になる場合を例にして説明します。もっと詳しく知りたい方は『ハイエレコン完全マスタ』を参照して下さい。

おまかせタイマーは

月曜日～金曜日	沸き上がり時刻	8時30分	運転時間	9時間	温度 80
土曜日、日曜日	沸き上がり時刻	—	運転時間	—	温度 —

でセットされています。(FUは沸騰を表します。)

それを下記のように変更する場合

月曜日～土曜日	沸き上がり時刻	9時00分	運転時間	9時間30分	温度 75
日曜日	沸き上がり時刻	—	運転時間	—	温度 —

1. **運転** を2秒間押しOFFにして下さい。
2. **モード** を長押しして下さい。(2～3秒間)
表示部に『時刻 〇〇時〇〇分』が表示され、点滅します。
3. もう一度 **モード** を押しして下さい。
表示部に『P1』が表示されます。
この表示は、次に設定するプログラムがプログラム番号1であることを意味しています。初期状態ではプログラム番号1には、おまかせタイマーが設定されています。この状態で **モード** を押しと『P2』表示になります。以下 **モード** を押しすることにより、『P3』『P4』『P5』『P6』『P7』『時刻』『P1』……と表示が変わります。
4. **セット** を押しして下さい。
表示部に『時刻 08時30分』が表示され、点滅します。
5. **△** **▽** を押ししてタイマー入時刻『時刻 09時00分』を入力して下さい。
6. **セット** を押しして下さい。

表示部に『時間 09h00m』が表示され、点滅します。

7. **△** **▽** を押して運転時間『時間 09h30m』を入力して下さい。(24 時間まで)
8. **セット** を押して下さい。

表示部に『温度 設定温度 80°C』が表示され、点滅します。

9. **△** **▽** を押して設定温度を『75』にして下さい。
10. **セット** を押して下さい。
11. すでにプログラム運転が設定されている曜日は、曜日表示上部の『▼』が点灯し、それ以外は『▼』が消灯しています。
12. **△** **▽** を押すことにより、曜日表示上部の『▼』の点灯または消灯にて曜日設定パターンが変更します。
13. 曜日設定パターンは、下記の通りです。

月・火・水・木・金 5日間運転
 土・日 2日間運転
 月・火・水・木・金・土 6日間運転
 月・火・水・木・金・土・日 7日間運転
 月 1日間運転
 火 1日間運転
 水 1日間運転
 木 1日間運転
 金 1日間運転
 土 1日間運転
 日 1日間運転

月・火・水・木・金・土 6日間運転に曜日設定を合わせて下さい。

14. **運転** を押して下さい。
プログラム入力が終了します。

使用方法

■おまかせタイマー（初期プログラムの場合）運転の場合

- ・ **運転** を押してONにして下さい。運転ランプが点灯します。

■強制運転の場合

1. 運転中である（運転ランプが点灯している）ことを確認して下さい。
2. **強制** を押して下さい。
1 回押すごとに2時間ずつ強制運転時間を延長し、最大8時間強制運転可能となります。
表示部に強制運転時間が表示されます。
3. **セット** を押すと、強制運転開始となります。
マニュアル/強制ランプが点滅し、液晶表示は強制運転残り時間と最高設定温度、現在温度を交互に表示します。
設定温度の変更は、**△** **▽** を押して変更し、**セット** を押して確定します。

■停止

- ・ **運転** を2秒間押すとランプが消灯し停止状態となります。

◎メモ

運転スイッチは常時ONの状態にしておいて下さい。マイコンがプログラムに従って自動運転します。運転がOFFの状態ではプログラムが働きません。

■休日停止の設置方法

祝・祭日、夏休み、臨時休業等でご使用にならない時は、休日停止機能によって設定した曜日より連続で最長 99 日間運転を停止することができます。
尚、設定できる曜日は当日を含む 1 週間先までです。

例： 本日が月曜日として木曜日が祭日で木曜日 1 日を停止する場合

1. **運転** を 2 秒間押しOFFにして下さい。
2. **モード** を押しながら **△** を押して下さい。
曜日『月』～『日』が点滅します。
3. **△** **▽** を押して上部の『▼』を『木』に移動して下さい。
4. **セット** を押して下さい。
休日開始曜日『木』が点灯し、他の曜日は消灯になります。
休日日数が点滅します。
5. **△** **▽** を押して『01』を入力して下さい。
6. **セット** を押して下さい。
元の表示に戻ります。
7. **運転** を押して下さい。
プログラム運転モードに戻ります。

ハイエレコン完全マスタ

このマイコンは、初期プログラムを含め 7 プログラム(7 つの運転開始時刻～運転時間)を組み合わせが可能です。さらに、初期プログラムは変更も可能です。

1. プログラムの入力

- 1-1 **運転** を 2 秒間押しして運転をOFFにして下さい。
- 1-2 **モード** を長押しして下さい。(2～3 秒間)
表示部に『時刻 〇〇時〇〇分』が表示され、点滅します。
- 1-3 もう一度**モード** を押して下さい。
表示部に『P1』が表示されます。
この表示は、次に設定するプログラムがプログラム番号 1 であることを意味しています。初期状態ではプログラム番号 1 には、おまかせタイマーが設定されています。
この状態で**モード** を押すと『P2』表示になります。以下**モード** を押すことにより、『P3』『P4』『P5』『P6』『P7』『時刻』『P1』 ----と表示が変わります。
- 1-4 プログラム変更するプログラム番号を選んで、**セット** を押して下さい。
表示部に『時刻 〇〇時〇〇分』が表示され、点滅します。
- 1-5 **△** **▽** を押してタイマー入時刻を入力して下さい。
- 1-6 **セット** を押して下さい。
表示部に『時間 〇〇h〇〇m』が表示され、点滅します。
- 1-7 **△** **▽** を押して運転時間を入力して下さい。(24 時間まで)

1-8 **セット**を押して下さい。

表示部に『温度 設定温度 ○○℃』が表示され、点滅します。

1-9 **△** **▽**を押して設定温度を入力して下さい。

1-10 **セット**を押して下さい。

1-11 すでにプログラム運転が設定されている曜日は、曜日表示上部の『▼』が点灯し、それ以外は『▼』が消灯しています。

1-12 **△** **▽**を押すことにより、曜日表示上部の『▼』の点灯または消灯にて曜日設定パターンが変更します。

1-13 下記の曜日設定パターンから選択して下さい。

月・火・水・木・金 5日間運転

土・日 2日間運転

月・火・水・木・金・土 6日間運転

月・火・水・木・金・土・日 7日間運転

月 1日間運転

火 1日間運転

水 1日間運転

木 1日間運転

金 1日間運転

土 1日間運転

日 1日間運転

1-14 **モード**を押して下さい。

表示部に『P2』が表示されます。

1-15 1-3～1-14を繰り返すことにより、7プログラムを組むことが可能です。

1-16 プログラム入力を終了する時は、**運転**を押して下さい。

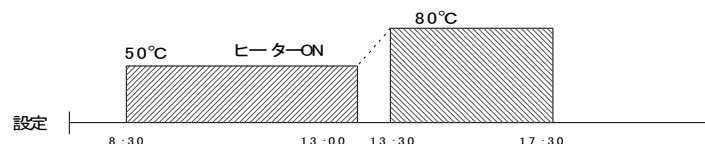
プログラム運転モードに切り替わります。

2. プログラム入力の注意事項

2-1 各プログラム (P1～P7) の動作が重なった時

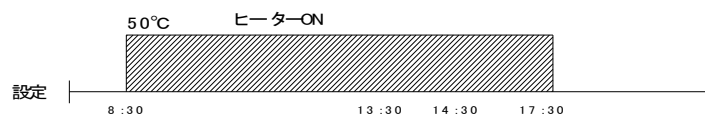
例1.

P1	08:30	04h30m	50
P2	13:30	04h00m	80



例2.

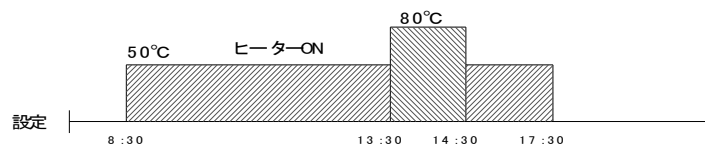
P1	08:30	09h00m	50
P2	13:30	01h00m	80



若いプログラム番号が優先されるため、08:30から09h00mは50℃設定のままになります。

例3.

P1	13:30	01h00m	80
P2	08:30	09h00m	50



若いプログラム番号が優先されるため、13:30から01h00mは80℃設定になります。

3. プログラムの確認

3-1 **モード**を押して下さい。

『時刻』が表示されます。

3-2 **△** **▽**を押して確認したいプログラム番号(『P1』～『P7』)を選択して下さい。

3-3 **セット**を押して下さい。

『タイマー入時刻』『運転時間』『設定温度』が順に表示され、同時にプログラム運転設定曜日が点灯します。

3-4 自動的に元の表示に戻ります。

4. 初期プログラムに戻す時

操作方法がわからなくなった時や初期プログラム(おまかせタイマー)に戻す時は下記の手順で工場出荷時の設定に戻すことができます。

4-1 **運転**を2秒間押してOFFにして下さい。

4-2 プログラム入力で『P1』(または『P2』～『P7』)を表示させて下さい。

4-3 **モード**を長押しして下さい。(2～3秒間)

表示部が『0000』の点灯表示となり、2秒表示後温度表示となります。

5. 安全装置が作動した時の処置方法

『故障かな?と思ったら』をご参照下さい。

6. 使用時の一般的な注意事項

- ・排水を行なう時は温水器の温度が下がってから行って下さい。熱湯が出て火傷の原因になります。
- ・排水管保護の面からも排水は温度を下げたから行って下さい。排水管が破損することがあります。

日常の点検とお手入れ

器具の性能を十二分に発揮し、故障や事故を防ぎ、長期間にわたってお使いいただくためには日常の点検、お手入れが必要です。



注 意

- お手入れは温水器が十分に冷めてから行って下さい。
- 内部には高温のお湯が入っています。十分注意して下さい。
- 排水を行う時は温水器の温度が下がってから行って下さい。熱湯が出て火傷の原因になります。
- や配管保護の面からも温度を下げたから行って下さい。配管が破損することがあります。

◎点検項目

1. 月に一回程度は電源コードが破損していたり、熱をもっていないかあるいは接続部のがたつき、ゆるみ、水漏れ等がないかを確認して下さい。

2. 清掃を行う場合、操作部（マイコン）に水が掛からないようにして下さい。防水仕様ではありませんので故障の原因になります。
3. 月に一回程度、安全弁のレバーを上げ 10 秒間程度排水して下さい。又、安全弁が正常に動作しているか確認して下さい。

故障かな？と思ったら



注 意

- 不良や異常のままの状態でご使用になると事故の原因になりますので、電源を切り直ちに使用を停止して下さい。

使用中に何らかの原因により安全装置が働いた時は、ヒーターへの通電は遮断されアラームが鳴りエラー表示されます。この時、運転を 2 秒間押し OFF にして下さい。アラームは止まりますが表示が残ります。原因を取り除いた後、運転を押し ON にして下さい。エラーコードは修理の際必要となりますのでメモしておいて下さい。

■ エラー表示内容

記号	内容	処置
E 0	低水位異常	水が入っていません。水を入れて下さい。純水を使用しますと水位センサーが働きませんので使用前にご相談下さい。
E 1	ハイカットセンサー断線	センサーの交換が必要です。
E 2	温度調節センサー断線	センサーの交換が必要です。
E 4	温度センサー又はハイカットセンサーの異常	温度センサー又はハイカットセンサーが外れています。点検が必要です。
E 7	沸き上げ不能又は全てのセンサー異常	ヒーターの断線、リレーの故障か又は全てのセンサーの異常ですので点検が必要です。又お湯を 1 時間以上使用していると発生することがあります。
E 9	温度センサーの異常	温度センサーが外れていますので点検が必要です。

■ その他の異常

内容	確認事項
水もお湯も出ない	断水ではありませんか？給水栓が開いていますか？確認して下さい。
お湯にならない	使用量が多くありませんか？少し時間を置いて下さい。時間が経っても沸かない場合は点検が必要です。
表示が何も出ない	停電ではありませんか？電源が入っているか確認して下さい。漏電ブレーカー等が「切」になってませんか？
地震や火災の時	あわてずに電源を切して下さい。機器に異常がないか確認してからご使用下さい。

上記の項目を確認しても思うように動作しない場合は機器の修理、点検が必要です。使用を中止し、アフターサービスについてをご参照の上販売店もしくは弊社までご連絡下さい。

長時間使用しない時

長期間ご使用にならない場合は、電源を切ってください。この場合、休み明けには電源を入れて下さい。なお、2週間以上過ぎている場合には時計合わせが必要になることがありますので、まず時計を確認して下さい。衛生上タンクの水を入れ替えて下さい。夏休み、臨時休日、祭日で使用しない場合は休日停止機能がありますので、こちらをご利用して下さいと休日明けでもお湯が沸いていますのでとても便利です。又、休日停止を設定した場合は必ず「**運転**」を押してONにしてください。

設置工事説明

設備業者及び工事をされる方へ



警告

- この機器を安全に正しくご使用頂くためにこの設置工事説明書をよくお読みになり指定された工事を行って下さい。



注意

- この機器は屋内用です。屋外への設置はできません。
- 銘板に表示してある電源を使用して下さい。

- 設置場所の確認
 - 設置場所の決定にあたってはお客様とよくご相談のうえ決定して下さい。
- 火災予防上の注意
 - 周囲の可燃材料との離隔距離を 50mm 以上保つこと。(東京消防庁管内においては密接可。但し上方は 200mm 以上)
 - 周囲の可燃材料との離隔距離を保てない場合は、防熱板等の処置を行って下さい。(離隔寸法等の基準は各地方自治体により異なる場合があります。)
 - 引火危険物を扱う場所には設置しないで下さい。
- 設置場所の周囲に関する事項
 - 火災予防条例の基準に従って非常口(避難通路)から離隔距離を取って下さい。
 - 冷暖房装置の吹き出し口の近くには設置しないで下さい。
 - できるだけ機器の取り付け、取り外しが容易にできる場所を選び、メンテナンススペースを確保して下さい。
 - 万一の水漏れを考慮して防水及び排水処理を行って下さい。
- 設置場所の雰囲気に関する事項
 - 腐食性のガスの発生する場所には設置しないで下さい。
 - 浴室等湿気が多い場所には設置しないで下さい。
- 設置上の確認
 - 付属品がある場合には必ず使用して下さい。
 - 温水器単独で漏電ブレーカーを取り付け、アースは必ず取って下さい。
- 機器の標準設置
 - 水平かつ温水器の満水時の重量に耐える床面の上に設置して下さい。
 - 給水配管は壁等にしっかりと固定して下さい。
 - 給水配管には必ず止水栓を設けて下さい。
 - 耐震のためアンカーボルトで床面に確実に固定して下さい。

■ 設置状態の確認

- 機器は水平で十分な強度のある床面をもつ場所に確実に設置してあること。
- 機器は床面に確実に固定してあること。
- 可燃性の部分から十分離してあり電氣的ノイズが発生しない場所であること。

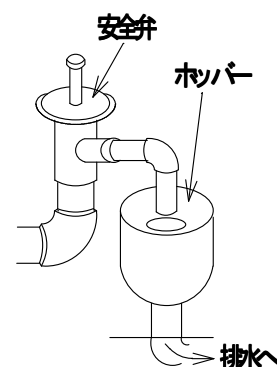


注 意

- 温水器に給水すると重量が増加しますので取り付ける床の強度には十分注意して下さい。

■ 給水・配管工事

- 指定された給水圧になるように給水口には減圧弁等を設けて下さい。
- 新設配管の時は、配管内のごみを完全に除去してから接続して下さい。
- 給水・給湯配管の材質は、熱に支障のないものを使用して下さい。
- 安全弁の排水はホッパー等で受け、必ず間接排水にして下さい。



■ 凍結予防

- この温水器には凍結防止装置が付いており、湯温が5℃になると自動的にヒーターに通電します。但し、運転が停止されている場合作動しません。

■ 電気配線工事

- 銘板に表示されている電源、電圧、相を確認して下さい。
- 温水器単独で漏電ブレーカーを必ず設け、アースは省令に従い必ず取って下さい。
- 電源コードの容量は銘板に記載されている消費電力以上のものを用意して下さい。

■ 設置工事後の点検、確認

- 可燃物からの離隔距離を確かめて下さい。
- 保守、点検ができるスペースを確保しているか確認して下さい。
- 付属品類が正常に取り付いているか確認して下さい。

■ 試運転

正しく設置工事されていることを確認してから次の要領で試運転を行って下さい。

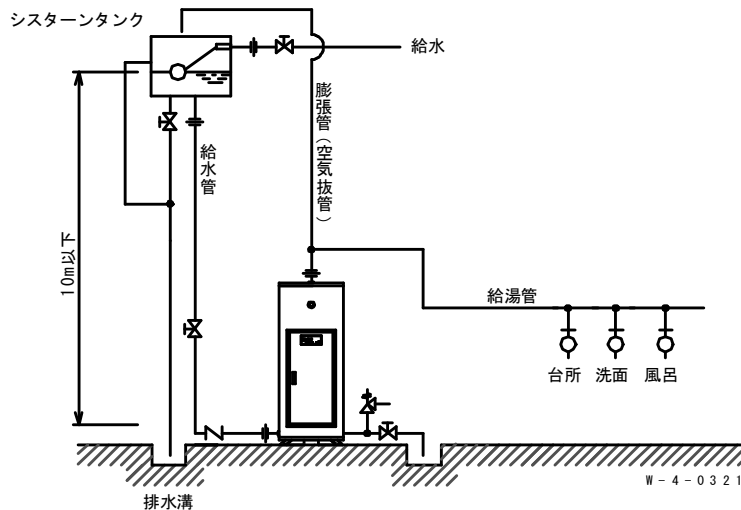
給水栓を開き給湯栓より水が出ることを必ず確認して下さい。

1. 電源プラグをコンセントに差込んで下さい。
2. **運転**を押して下さい。加熱中ランプが点灯し加熱状態になります。
3. **強制**を押して下さい。左2桁の表示が『80』になり加熱中ランプが点灯し加熱状態になります。
時間と共に右2桁の湯温度が上昇することを確認して下さい。
4. **▽**を押して湯温度と同じにして下さい。加熱中ランプが消灯することを確認して下さい。
5. **運転**を2秒間押し続けて下さい。停止します。
→ エラー又は異常がある時は、『故障かな?と思ったら』の項を読んで対処して下さい。

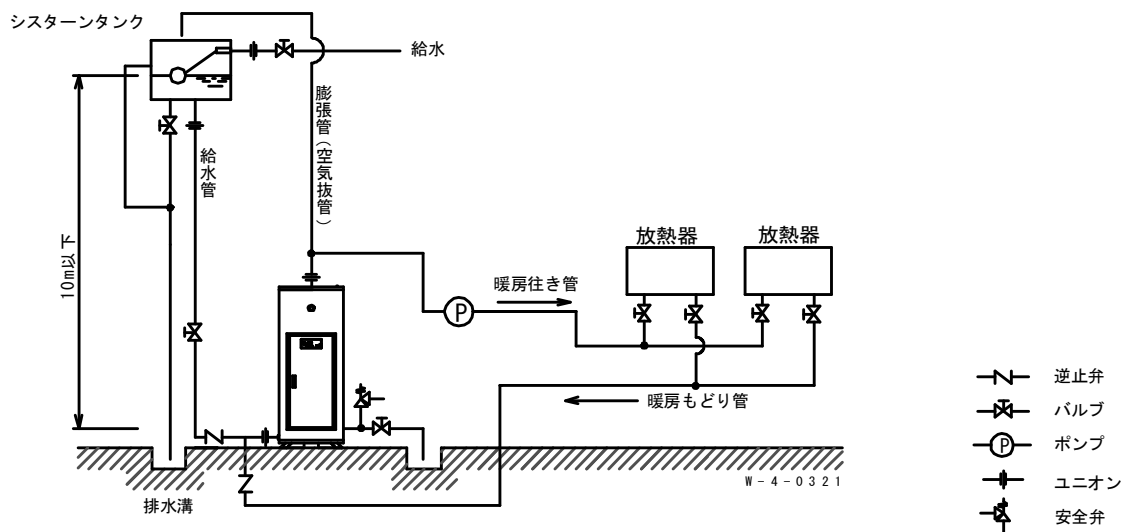
→ 試運転終了後、そのまま使用しない場合は電源コンセントを抜き、給水元栓を閉止して下さい。

- お客様への説明
 - 使用方法を取扱説明書に従ってお客様へ説明して下さい。
- ボイラ配管
 - 配管方式は下図標準例を参照して下さい。

・ 給湯の場合



・ 暖房の場合



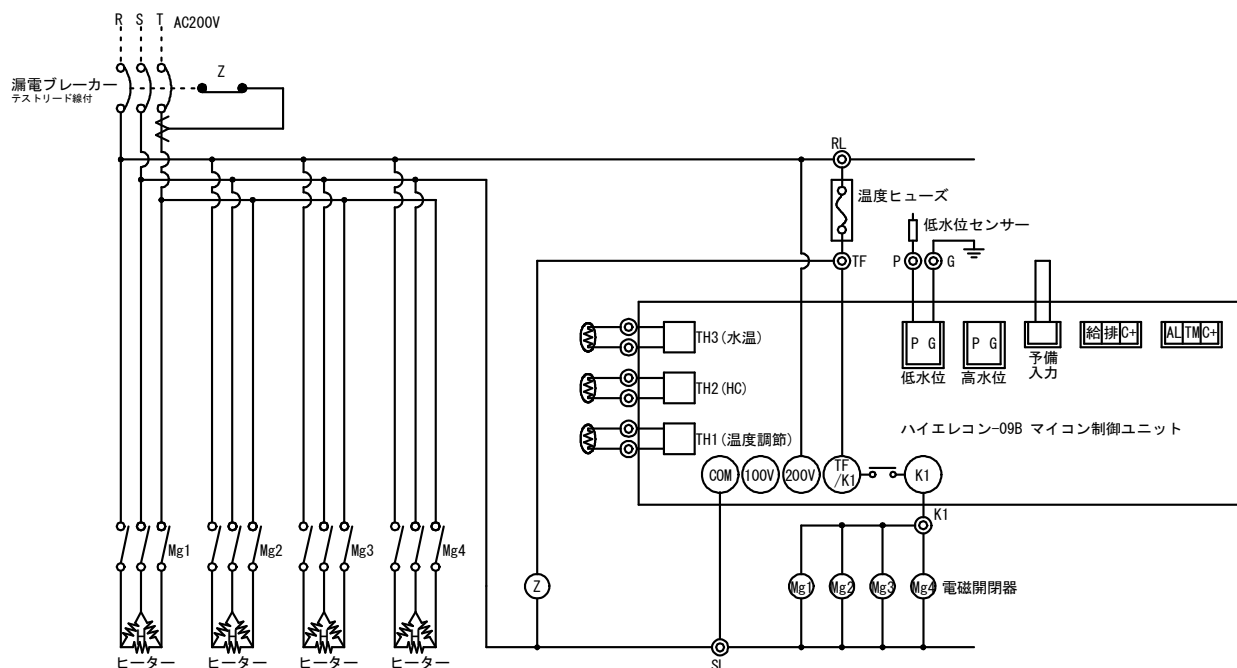
注：ボイラが屋上等にあり階下に配管される時は、負圧作動弁（バキュームブレーカー）を設置して下さい。

仕様

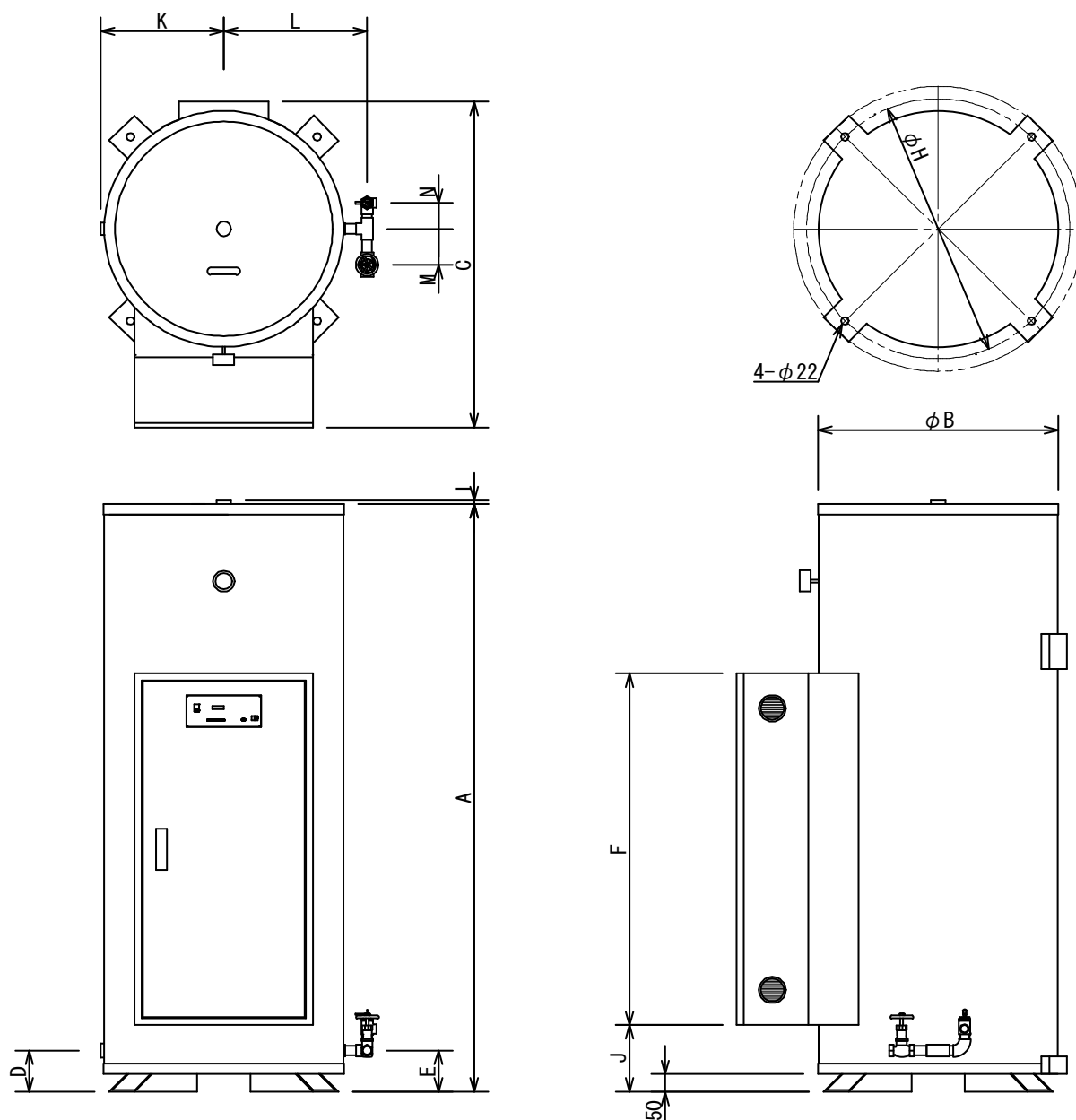
■ 性能表

製品名		電気温水器							
型式		HWE-380	HWE-500	HWE-600	HWE-800	HWE-900	HWE-1200	HWE-1500	HWE-2000
設置方式		屋内式							
給水方式		シスターン式							
ヒーター容量[kW]		10.5	10.5	20	30	30	30	45	45
発熱量[kcal/h]		9030	9030	17200	25800	25800	25800	38700	38700
有効貯湯量[L]		380	500	600	800	900	1200	1500	2000
沸き上がり時間(60°Cdeg)[min]		152	200	126	112	126	168	140	186
電源		三相 200V							
給水圧[kPa](kgf/cm ²)		98(1.0)以下							
給水口径[A]		25	25	25	32	32	40	40	50
給湯口径[A]		25	25	25	32	32	40	40	50
排水口径[A]		20	20	20	25	25	25	25	25
外径寸法	幅[mm]	831	931	981	1043	1094	1201	1301	1508
	高さ[mm]	1680	1720	1740	2090	2110	2160	2200	2300
	奥行[mm]	900	1000	1050	1100	1150	1250	1350	1550
重量[kg]		126	155	178	198	231	274	378	509
湯温度制御		ON-OFF 制御							
安全装置		安全弁・空焚防止装置・過昇防止装置							

■ 配線図



■ 寸法図



型式	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
HWE- 380	1670	670	900	117	117	1000	500	740	10	189	429	402	102	74
HWE- 500	1710	770	1000	117	117	1000	500	840	10	208	479	452	102	74
HWE- 600	1730	820	1050	117	117	1000	500	890	10	218	504	477	102	74
HWE- 800	2070	870	1100	122	122	1000	500	950	20	243	535	508	113	83
HWE- 900	2090	920	1150	122	122	1000	500	1000	20	252	561	533	113	83
HWE-1200	2140	1020	1250	128	128	1000	500	1120	20	282	618	583	113	83
HWE-1500	2180	1123	1350	128	128	1000	500	1220	20	302	668	633	113	83
HWE-2000	2270	1323	1550	130	130	1000	500	1420	30	356	775	733	113	83

アフターサービスについて

サービス（修理）のご依頼をされる前にもう一度「故障かな？」を確認の上、販売店もしくは細山熱器（株）サービス課までご連絡下さい。アフターサービスをお申し付けの際は次のことをお知らせ下さい。

品名：電気温水器 電源電圧：〇〇〇〇
 型式：HWE-〇〇〇 製造番号：〇〇〇〇

故障内容、異常の状況をできるだけ詳しくお伝え下さい。又、お客様のご住所、電話番号、会社名、担当者名をお知らせ下さい。尚、製品の修理に関するお問い合わせは下記までお願いします。

拠点名	電話番号	住所
細山熱器（株）本社	TEL:03-3249-0331 FAX:03-3249-0329	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-8-7
細山熱器（株）札幌営業所	TEL:011-736-0371 FAX:011-758-0739	〒001-0019 札幌市北区北 19 条西 5-20
細山熱器（株）新潟営業所	TEL:025-246-0166 FAX:025-241-3833	〒950-0916 新潟市米山 1-5-5
細山熱器（株）大阪営業所	TEL:06-6922-5581 FAX:06-6921-2040	〒535-0031 大阪市旭区高殿 2-7-19
細山熱器（株）福岡営業所	TEL:092-531-3284 FAX:092-522-1623	〒815-0033 福岡市南区大橋 3-25-1 貞方ビル D 号室
細山熱器（株）仙台出張所	TEL:022-272-0909 FAX:022-275-9473	〒981-0916 仙台市青葉区青葉町 5-3

取扱説明書の再入手方法

この取扱説明書を紛失した場合、最寄の営業所に依頼して下さい。有料にて手配致します。尚、依頼される時は取説番号をお伝え下さい。

この取扱説明書の取説番号は、HWE-取説-005です。